

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は2020年度日本陸上競技連盟競技規則により実施する。

2. 練習等について

(1) 10月17日(土)～10月18日(日)は下表に基づき練習ができる。

なお、練習にあたっては競技役員の手配に従うこと。

(2) 雨天練習場は小・中学生は使用できない。

(3) 小学生は安全上、補助陸上競技場のみ使用可とする。

会場名		期 日	10月17日(土)	10月18日(日)
陸上競技場	トラック		9:00～17:30	—————
	走幅跳		13:00～17:30	
	走高跳			
	三段跳			
雨天練習場			9:00～17:30	8:00～16:30
補助陸上競技場	トラック		9:00～16:30	7:30～16:00
	走幅跳		13:00～15:00	8:00～11:00
	三段跳		13:00～15:00	11:30～13:30
ちよるる広場	ハンマー投		13:00～17:00	女 8:00～9:30 男 10:30～12:00

*1 両日とも TIC で体調チェックシートを提出し、入場許可書を受けてから入場すること。

*2 陸上競技場の8, 9レーン及び補助陸上競技場の7, 8レーンはハードル練習に使用する。
陸上競技場においてはスタートから3台目までとする。

*3 雨天練習場走路の利用は一方通行(東から西)とする。又、競技開始時刻後の出入りは北側出入口のみとする。

3. 競技者招集について

(1) 招集所は第2ゲート外に設ける。欠場する場合は、欠場届を必ず事前に提出すること。

(2) 招集時刻は次の通りとする。

トラック競技・・・競技開始30分前に開始し、20分前に完了する。

組ごとに招集時刻が異なるので、日程表に記載の時刻を厳守のこと。

フィールド競技・・・競技開始50分前に開始し、40分前に完了する。

(3) 競技者は、競技役員の手配に従って入退場する。

(4) リレーのオーダーは、招集完了時刻の1時間前までに、競技者係(招集所)に提出すること。

4. アスリートビブスについて

(1) アスリートビブスは、主催者が用意したものを、そのままの大きさを胸・背部につけること。

(2) トラック競技のグランプリ種目及び800m以上の種目の競技者は、腰ビブスを招集所で受け取り、右腰に確実に付けること。

(3) 跳躍種目においては、胸・背のどちらかに着けるだけでもよい。

5. 競技について

(1) 不正スタートは、規則第162条の6による。

ただし、小学生については同じ選手が2回不正スタートをした場合、その選手を失格とする。

(2) スパイクシューズのスパイクは全天候舗装用とし、その長さは9mm以下とする。ただし走高跳は12mm以下とする。

また、トラック種目のシューズの底の厚さは、WA 規定を適用しないが、検査を実施し規定外

のシューズ使用者はリザルトに記載する。

(3)トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順はプログラム記載順による。

(4)競技者が走行・歩行不能(即ち歩いたり、立ち止まったり、倒れた状態)となった場合は、本人が引き続き競技続行の意思をもっていても、審判長(または権限を委譲された審判員)から中止を命ぜられた場合は、直ちに競技を中止しなければならない。

(4)男子三段跳および女子走幅跳は3回目まではA・Bピットで行い、4回目以降の試技もピットを変えずに行う。

(5)走高跳のバーの上げ方は、次のとおりとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	以後
G(男子)	1m85	2m00	2m05	2m10	2m15	2m18	2m21	2cmずつ
G(女子)	1m55	1m65	1m70	1m75	1m78	1m81	1m83	2cmずつ

6. 使用する器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。

ただし、個人所有の投てき器具の使用を希望する者は、競技開始60分前までに用器具検査所(第4ゲート内側)で「用器具検査申請書」により申し出ること。

なお、検査に合格した用器具については、主催者が「預り書」を発行のうえ一括借り上げし、参加者全員が共用できるものとする。借り上げた用器具は、競技終了後に同所で返却する。また、滑り止め(炭マグ)は各自用の小袋に入れたものを、各競技会場で役員から受取り使用すること。不足する場合は各自で準備すること。

7. 取材について

競技終了後の取材は、退場口で記者からの要望により、短時間で行う。

8. 表彰について

(1)一般の表彰は、1階エントランスホール内の、表彰係役員より受け取ること。

三段跳:優勝者には「田島杯」レプリカ、メダル、賞状。2・3位にはメダルと賞状を授与する。

走幅跳:優勝者には「田島杯」レプリカ、メダル、賞状。2・3位にはメダルと賞状を授与する。

他の種目:3位までの入賞者にメダルと賞状を授与する。

(2)高校生・中学生・小学生の表彰は正面玄関内にて表彰係より受け取ること。

各種目とも3位までの入賞者にはメダルと賞状、4～8位までの入賞者に賞状を授与する。

9. 更衣室について

(1)更衣室は、男女共、1階の各更衣室を使用する。招待選手控室には一般の競技者は入らないこと。メインスタンド1階への選手の入退場は第1・4ゲート部の出入口を利用すること。(エントランスホールは通行禁止)

(2)更衣室は更衣のみに使用する。更衣後の荷物は各自で管理すること。コインロッカーは使用可。

(3)貴重品類は各自で保管すること。万一の事があっても、責任は負わない。

10. トラック競技の衣類について

(1)トラック競技の競技者は、競技者係でビニール袋(70ℓ)(大会期間中使用する)を受け取り、ナンバーと氏名を記入する。

(2)スタート前に脱衣した衣類は、ビニール袋に入れ、競技役員が指示した場所に置く。

(3)脱衣衣類等は、直ちに係員によりフィニッシュ付近(第1ゲート)退場口に運ばれるので、フィニッシュ後速やかに各自で受け取り退場する。

11. その他

(1)競技者の衣類・バッグ等の商標については「競技会における広告および展示物に関する規程」による。

(2)競技者に対する助力については、競技規則第144条を適用する。

(3)招待及び一般の出場競技者には、通行証として、IDカードを渡す。場内を移動する際は

必ず所持すること。また、競技場への入退場は、すべて競技役員の誘導に従うこと。

小・中・高校生はナンバーカードを通行証とする。

いずれも、体調チェックシートと引換えの入場許可証も携帯のこと

(4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、本部に連絡して処置を受ける。医務室は競技場1階(中央付近)に在る。なお、応急処置後の治療は本人負担とする。

(5) 各種申請書類は、TICで配布する。

(6) 対コロナ感染症対策のための規定を順守すること。

- ① 競技終了後は直ちに、第1ゲート外の階段よりコンコースに上り、手洗い・うがいをする。
- ② 各競技会場に置いてある、消毒液を適時使用してもよい。
- ③ 競技中(練習含む)以外は、競技場内においても必ずマスクを着用すること。
- ④ 待機場所は、2階コンコースとし、3密は避けること。また、ウォームアップ室は待機場所としては使用できない。更衣室の使用も短時間とすること。
- ⑤ その他、別紙記載事項(別添1、2、3、4)を順守すること。

12. ドーピングコントロールについて

(1) ドーピングコントロール

ワールドアスレティックスアンチ・ドーピング規則及び規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規定に基づいて行われる。本大会の前もしくは後のドーピング検査で、尿又は血液(或は両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。尚、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

(2) TUE申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は”治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会ホームページ(<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。

(3) 18歳未満の競技者の親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

世界アンチ・ドーピング規定、同国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規定により、18歳未満の競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得することが必要となる。

- ① 本大会に参加する18歳未満の競技者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書は<http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf>からダウンロード出来る。
- ② 18歳未満の競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR(陸連医事代表)に提出すること。提出は、未成年時に1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みであることをNFRに申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。

※弁当などの容器を『空缶入れ』には絶対に入れないでください。

※競技場内にゴミを残さないよう、きれいな競技場にしてお帰りください。

※競技場エリア内は全面禁煙です。(スタンド、コンコース、及び競技場周囲を含む)